

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	東京家政大学かせい森の放課後等デイサービス「つくし」		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60 名	(回答者数) 53 名
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 名	(回答者数) 11 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携(報告・連絡・相談)が取れており、計画に沿った適切な支援の提供を心がけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常時、活動前にプログラムの内容を確認し、児童の様子について密に情報交換を行っている。</li> <li>・ 活動終了後の振り返りを職員全体で行い、児童の変容等をつぶさに確認している。</li> </ul>	令和7年度末をもって閉所のため、無記入とする。 (以下、同様とする)
2	定期的な面談や子育てに関する助言等の支援が行われている。また、相談があった際に迅速に対応している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 毎日、療育の様子について指導員から保護者に伝えていく。</li> <li>・ 定期面談以外に、施設閉所に伴う保護者の不安を解消すべく職員の相談体制を見直し、支援に努めた。</li> </ul>	
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信する。	H Pについては、事業所評価等のみの更新である。本施設では、保護者による送迎のため、直接、保護者に接する機会が多く、情報伝達は施設内の掲示や口頭による説明が有効であった。	
2			
3			